

寝たきりや認知症で介護が必要な高齢者を社会全体が支える仕組みとして、平成12年に始まつた介護保険制度は、より良い制度を目指して3年ごとに見直しが行われていますが、まだまだ多くの限界があります。

片瀬地区社会福祉協議会(地区社協)で7月に行われたこの制度についての『介護保険ができること・できないこと』の研修を受け、特集を組んでみました。

やはり最も気になるのは『できないこと』の部分でしょう。この点をよく理解しておかないと充分にこの制度を活用できないと思われます。

中でも、肝心なのは「お手伝い

さんには、できてヘルパーさんにはできない」ことがあるという点です。お手伝いさんは頼まれたことをできるだけ何でもこなすのが基本ですが、ヘルパーさんは介護のノウハウ心得ていて、利用者がかつてと同じような自立した生活を送れるように支援することが役目なので、時には頼まれてもことわることもあります。これが、以前から見ると減ってきたとはいっても、あるヘルパーさんが利用者から「あんたはつかえないねえ」と言わされたという話も実際に聞きました。

ヘルパーさんとお手伝いさんの

介護保険のこれから



◎介護保険(ホームヘルプサービス)の対象とならない例

- ・本人不在時の支援
- ・本人以外の衣服の洗濯、食事の用意、買い物、布団干し
- ・本人が使っている部屋以外の掃除
- ・車の洗車、草むしり、花木の水やり、犬の散歩やペットの世話
- ・大掃除、ガラスの窓拭き、床のワックスがけ、電球の交換
- ・正月等の特別な手間をかけて行う調理
- ・預貯金の引き出しや振り込み等
- ・墓参り、旅行、地域の行事の参加の付添い
- ・話し相手、見守り
- ・その他:緊急時対応・契約書などの代筆・親族のいないときの身元引受人など

『できない』という点では同じでも、別の理由で『できない』こともあります。



違いを理解してもらうのはなかなか難しく、繰り返し根気よく話してわかつてもらう以外にはないようです。最近は話し合いで理解してくれる方が増えてきたようですが…。

かし、対象者でなければ同じ家族

であつてもできないというのは、

制度としては理解できても気持ち

としてはなかなか受け入れられま

せん。(次頁に続く)

誰でも自分の信ずる健康法を持っている。信じているし実践していると思う。世の中には人体や健康に関する情報が溢れています。テレビをつければ有名人が錠剤をうなぎをつけて飲んでいる。シジミだのニンニクだのと。

私は若いころから歩くのが大好きだった。私の健康法、それはまづ歩くことである。歩行は人間の基本。立ち上がって歩く。適度の運動も大脳皮質を刺激し、脳への血流を増加させ、脳の老化を防ぐとか。高血圧や動脈硬化の予防、足腰を鍛える意味からも望ましいと言われている。足のふくらはぎは第2の心臓と言われている。この筋肉が収縮・血行をさらに良くする。

誰でも自分の信ずる健康法を持

つている。信じているし実践して

いると思う。世の中には人体や健

康に関する情報が溢れています。

テレビをつければ有名人が錠剤をう

なぎをつけて飲んでいる。シジミだの

ニンニクだのと。

私は若いころから歩くのが大好

きだった。私の健康法、それはま

づ歩くことである。歩行は人間の

基本。立ち上がって歩く。適度の

運動も大脳皮質を刺激し、脳への

血流を増加させ、脳の老化を防ぐ

とか。高血圧や動脈硬化の予防、

足腰を鍛える意味からも望ましい

と言われている。足のふくらはぎ

は第2の心臓と言われている。こ

の筋肉が収縮・血行をさらに良く

する。

今でも毎日歩いています。特に藤沢駅へは歩いて行く。雨の日以外は江ノ電を利用しないという事である。

「コミュニティハウス 片瀬山・山本文庫」

◆地域の縁側◆

活動を支えるマスター や サボー ターも高齢者。支え、支えられ、人の輪が拡がり、活動がご自身の活力にもなっているのを感じます。

また、定期的に集うサロンもでき、チクチク(手芸)、囲碁、スマホ、読の会、抹茶などいろいろあります。

パソコン、中国茶、野口体操、朗

读の会、抹茶などいろいろあります。

参加をお待ちしています。親

様な世代の方々に気軽に立ち寄っていたける場所を目指しています。お蔭さま

で1か月でおよそ四、三〇〇

の方においでいただきま

した。若い世代も増え始めました。遠出の機会が減り、籠りがちになる高齢の方々

も、入園前の幼児連れのマ

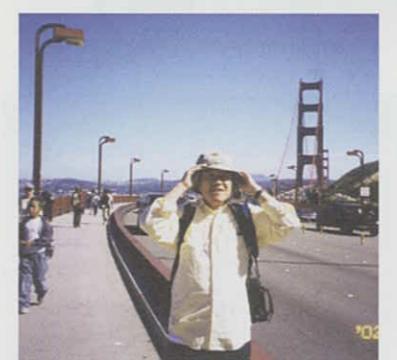
マたちも、放課後の小学生

も、世代を超えて交流を深めています。一人でもお立

ち寄りください。談話室に

お茶の用意もあります。

まちの憩いの場所



休暇で山中湖へよく行つたが、山中湖一周(14km)を歩くのが楽しみだった。湘南台文化センター勤務の時は時々歩いて通勤した。外國ではサンフランシスコのゴルデングートブリッジを歩いて渡つたし、ドイツのケルン大聖堂も下から階段で登つた。ネパールへ行った時は、ヒマラヤの山すそを少しトレッキングした(12時間歩いた)等々。この少々短い足で80年近くよく歩いたものである。これからも生きている限りひたすら歩きたいと願つてゐる。



編集後記
(代表 佐藤英樹)

「しあわせ」51号を完成・作り上げるには、地域のご協力、諸先輩方々の話を聞き、お互いに意見を出し、幾多の工程を経るのだと知りました。出来上がった広報は喜びと感動でした。これからも皆さまに楽しんで読んでもらいたいだけの「しあわせ」になるよう、ご意見、ご感想をお待ちしております。初めて編集に携わらせていただき、有難うございました。(甘糟)

チクチク(手芸)、囲碁、スマホ、パソコン、中国茶、野口体操、朗读の会、抹茶などいろいろあります。参加をお待ちしています。親様な世代の方々に気軽に立ち寄っていたける場所を目指しています。お蔭さまで1か月でおよそ四、三〇〇の方においでいただきました。若い世代も増え始めました。遠出の機会が減り、籠りがちになる高齢の方々も、入園前の幼児連れのママたちも、放課後の小学生も、世代を超えて交流を深めています。一人でもお立ち寄りください。談話室にお茶の用意もあります。

チクチク(手芸)、囲碁、スマホ、パソコン、中国茶、野口体操、朗读の会、抹茶などいろいろあります。

チクチク(手芸)、囲碁、スマホ、

パソコン、中国茶、野口体操、朗

读の会、抹茶などいろいろあります。

チクチク(手芸)、囲碁、スマホ、

パソコン、中国茶、野口体操、朗

读の会、抹茶などいろいろあります。

敬老会が開催されました



平成29年9月6日に市民会館展示ホールにて行われました。片瀬在住の83歳以上の方々が219人参加。厳かな式典の後、おいしいお弁当をいただき、演目を楽しみました。

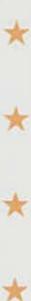
ふれあいまつりに参加しました



平成29年10月28～29日に片瀬地区ふれあいまつりが開催されました。29日は台風22号との“ふれあい”で模擬店は中止、各種展示や音楽芸能発表も中止になりました。残念!!

福祉の現場で仕事に従事している人達は、自分が実際に関わる方の役に立ちたいという気持ちが強く、利用者のニーズに応えられない場合には、利用者以上にやるせない思いをしているのではないでしようか。

今後、核家族化も高齢化も一層進んで行く傾向にある中、社会全体・国民全体で財源の確保に努め、「できないこと」が一つでも少ない介護サービス制度が実現することを望むものです。



片瀬地区社協の取り組み

生活支援部会では昨年度、介護保険や地域の実態について、自治会・町内会の役員や民生委員のみなさんと情報を共有し、意見交換を行いました。

次いで今年7月には「介護保険でできること・できないこと」を主題とする研修会を行ったところ、たくさんの方々にご参加いただきました。有難うございました。

現行の介護保険の介護サービスの内容には限度があるため、高齢

者には必要でも介護保険ではできないサービスをどうするのかが課題になります。

当部会は地域力を活かして、自治会・町内会、民生委員、ボランティアの方々と連携しながら在宅支援活動に取り組んでいきたいと思います。（生活支援部会長田村順子）

ご存知ですか？

介護保険サービスは保険証をもつていただけでは利用できません。市役所の介護保険課、市民センターの福祉窓口、いきいきサポートセンターで申請することができます。

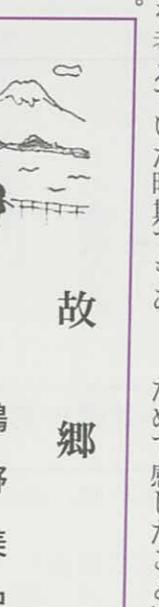
申請 → 調査 → 申告
・調査員が本人に会い様子を伺います。
・かかりつけの医師が意見書を書きます。

東京からこの地に移り住んで9年目になります。移住する前、観光で訪れる度に夫と「ここで子育てできたら幸せだろうね」と話していました。当時5歳と3歳の子供があり、3人目を妊娠していたので、新しい住まいを考えていた時期でもあります。

ふと、訪れる度に見入っていた富士山を望む相模湾に浮かぶ江の島の風景が閃きました!! 行く先々で感じていた地元の方々の気さくな振る舞いや気遣い、そこに住んでいる方が一番に楽しそうにしている姿を思い出し、すぐに引っ越しを決断しました。

車で2時間かけて来ていた所が歩

しあわせとは



いて数分の場所に毎日が楽しく充実し、そして何よりも、ご近所の方々や子供を通じて知り合ったお母様方の優しさに助けられ、慣れない地での子育ての苦難を乗り越えてきました。その後、3人目に4人目に恵まれ、去年には7年振りに5人目を授かりました。まだ子育て継続中です。自然豊かな環境のお蔭で、長女は吸入器を手放せない状況でしたので、彼女に最適な環境を一番に考え、模索しておりました。

ふと、訪れる度に見入っていた富士山を望む相模湾に浮かぶ江の島の風景が閃きました!! 行く先々で感じていた地元の方々の気さくな振る舞いや気遣い、そこに住んでいる方が一番に楽しそうにしている姿を思い出し、すぐに引っ越しを決断しました。

車で2時間かけて来ていた所が歩

ご近所の方々、地域の方々に見守られて、子は健やかに成長できるのだと思います。私達親も含め、子供達にはそれが当たり前なことではなく、感謝の気持ちをもち、幸せなことだということを感じさせて感じたことは人とのご縁、老若男女問わずの大交流の大切さです。

お母様方の優しさに助けられ、慣れて、子は健やかに成長できるのだと思います。私達親も含め、子供達にはそれが当たり前なことではなく、感謝の気持ちをもち、幸せなことだということを感じさせて感じたことは人とのご縁、老若男女問わずの大交流の大切さです。

鳥のさえずりや虫の声。神社のお囃子。打ち上がる花火の音や波の音。この地でしか感じ得られない四季折々の音が、子供達にとって大好きな故郷の思い出と共にになりますように。